

# 地域経済動向調査報告

平成 29 年度 第 4 四半期 (1~3 月)

調査対象期間 平成 30 年 1 月～平成 30 年 3 月

調査期間 平成 30 年 4 月 10 日～平成 30 年 4 月 25 日

調査方法 郵送により、別紙調査票にて実施

調査項目 DI 値 (景気判断指数) 使用

調査対象数 100 事業所

抽出方法 当所会員名簿から、業種のバランスを考慮し抽出

## 回答数及び回答率

業種	配布数	回答数	回答率	回答構成比
全業種	100	63	63.0%	100.0%
製造・鉱業	22	17	77%	27%
建設	22	19	86%	30%
運送	7	6	86%	10%
卸・小売	31	12	39%	19%
飲食、サービス	18	9	50%	14%

※平成 30 年 5 月 10 日現在

## 1. 業況感

	国	県	江津市
1月	景気は、緩やかに回復している。	個人消費は緩やかに持ち直しているほか、生産活動も総じてみれば回復しつつある。雇用情勢も改善しており、人手不足感が広がっている。	売上や業況についてほぼ横ばいの状況。一部好調な業種を除き、依然厳しい状態が続いている。
2月	景気は、緩やかに回復している。		
3月	景気は、緩やかに回復している。		

※内閣府「月例経済報告」、財務相松江財務事務所「島根県の経済情勢」参照

## 2. 業況

江津市の景気は、電子部品製造など、一部製造業は引き続き好調である。

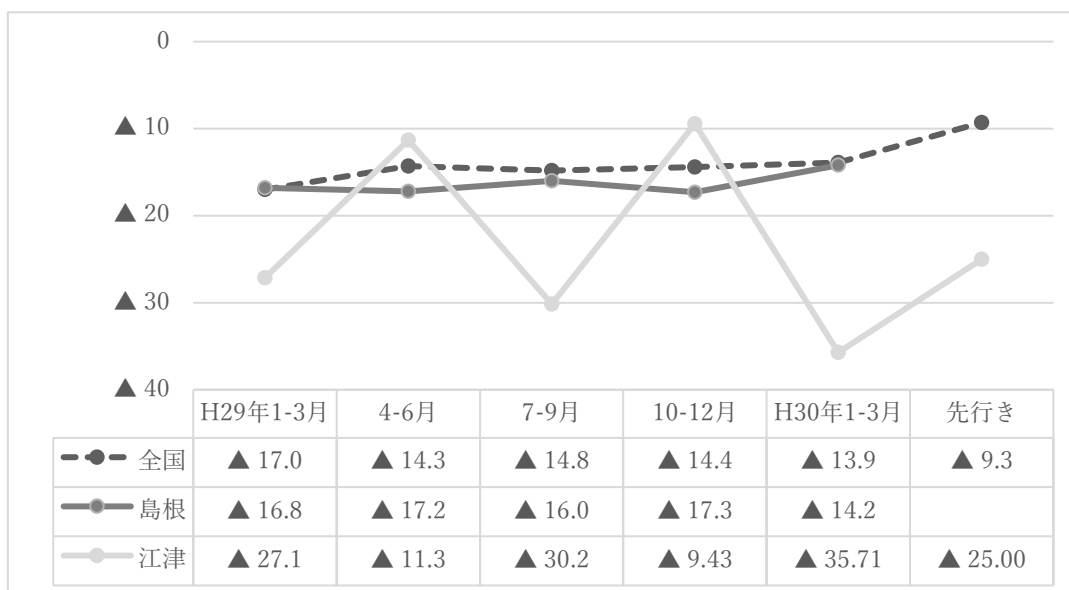
下げ幅は緩和しているが、建設業は引き続き受注減少に悩まされている。今冬は前年度の天候と一変し寒い冬となり、飲食業の客足の鈍化・建設業の工事低迷、一方で卸小売業は前回調査▲36→今回調査▲25とマイナス幅が改善されたことから燃料小売業を中心に冬物商品の需要が増えたのでは推測される。

全業種を通じた今後の見通しは、前回調査▲24→今回調査▲25とほぼ横ばいである。

### (1) 業種別の業況 D.I. (各期間比較)

	当期間と前の 3カ月間との比較	当期間と前年 同期間との比較	当期間と比較した向 こう3カ月間の先行 き見通し
全 体	▲ 35	▲ 27	▲ 25
製 造 業	▲ 29	6	▲ 6
建 設 業	▲ 35	▲ 42	▲ 41
運 送 業	▲ 60	▲ 67	▲ 60
卸 小 売 業	▲ 10	▲ 25	10
飲食・サービス業	▲ 63	▲ 33	▲ 50

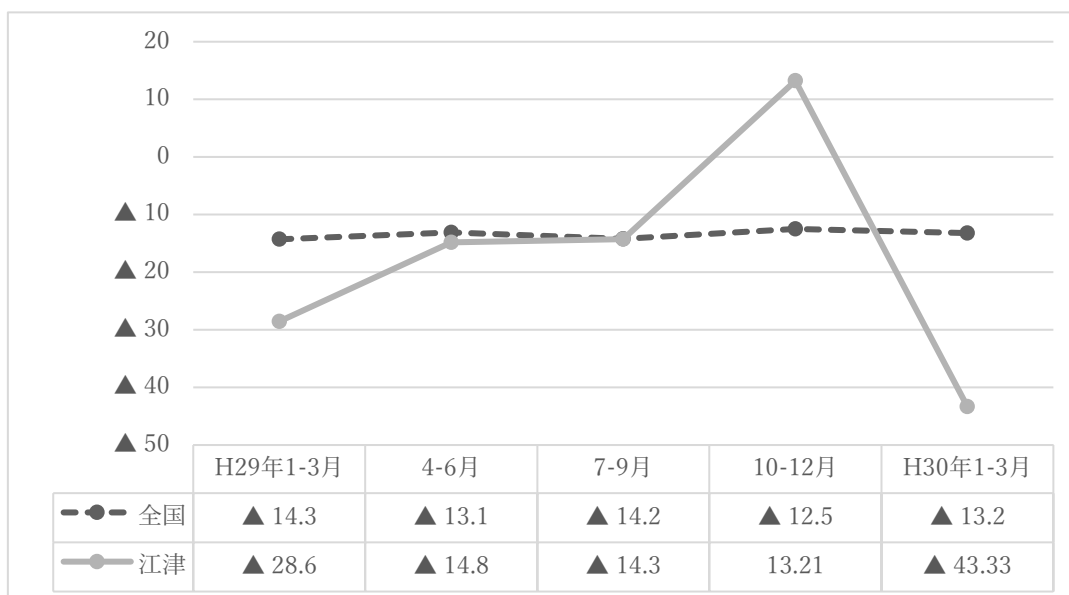
## (2) 業況 D.I.の推移 (前期比)



## 3. 売上

### (1) 売上 D.I.の推移 (前期比)

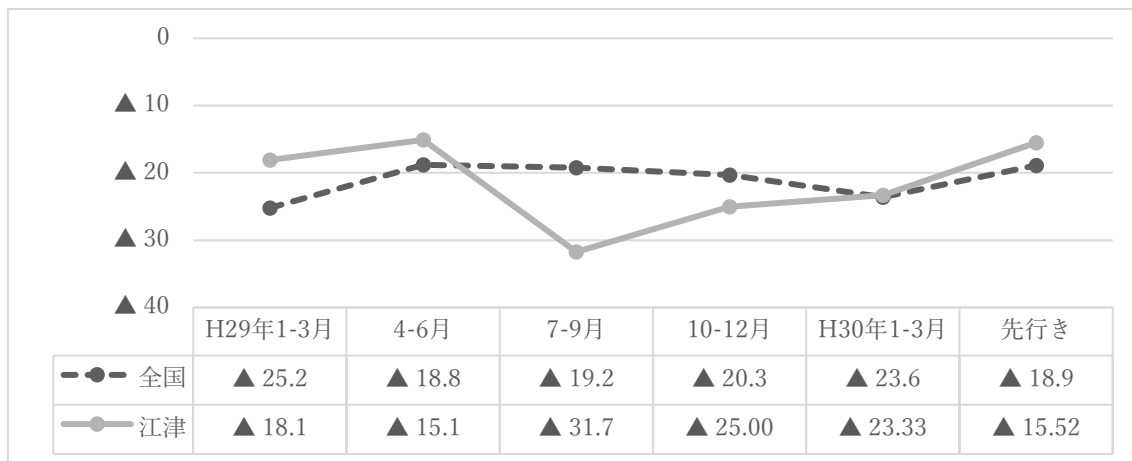
冬季・年度末という時節柄もあってか前回調査の見通しで悪化が予測された通り、飲食・サービス業で前回調査▲17→今回調査▲89、瓦関連製造業（製造業 57→▲41）を中心に売上が悪化した。回答者の 26.9%が需要減による業況悪化を挙げており、売上減もそれに付随するものと考えられる。



#### 4. 採算

##### (1) 採算 D.I.の推移（前年同期比）

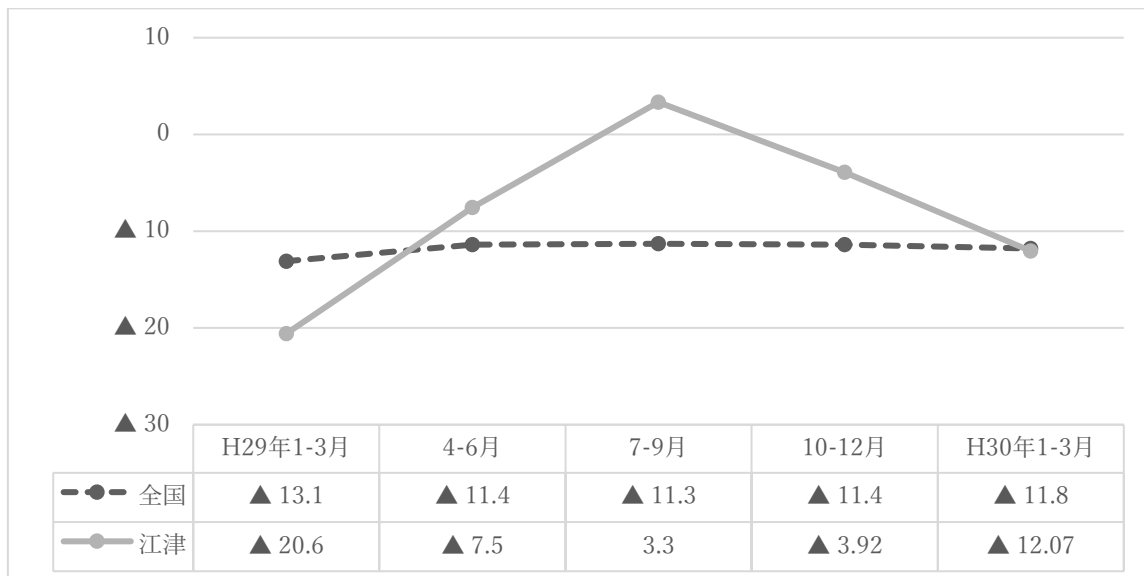
採算は緩和している。特に卸小売業においては前回調査▲17→今回調査0と回復の兆し。一方で飲食・サービス業は前回調査 29→▲63 と悪化。原材料の高騰等が影響を与えている様子。



#### 5. 資金繰り D.I

##### (1) 資金繰り D.I.の推移（前期比）

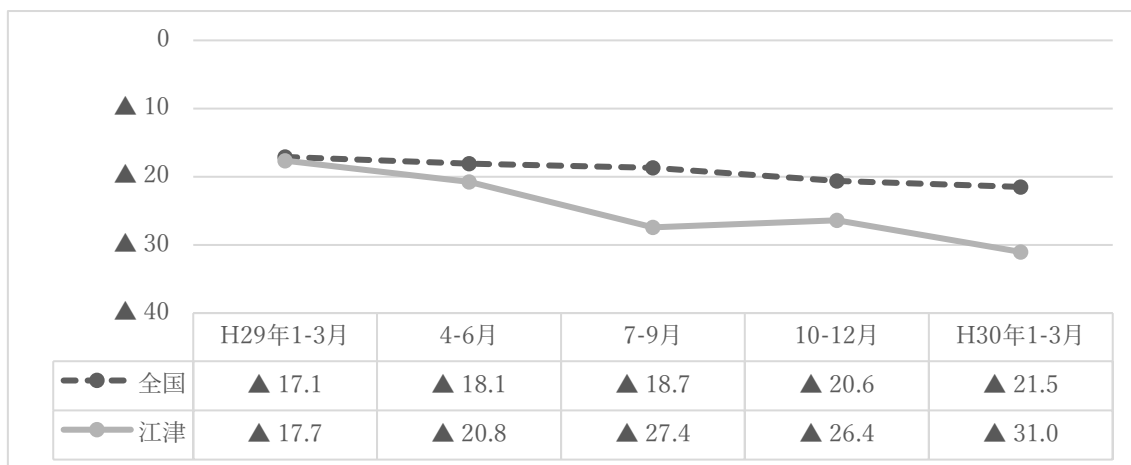
資金繰り難易度についてはほぼ横ばいの状態で推移している。



## 6. 雇用 D.I.

### (1) 雇用 D.I.の推移

引き続き人手不足が続いている。卸小売業では前回調査▲8→今回調査 9と若干の改善がみられる。人手不足と反して人件費分の売り上げが見込めないことや、新人育成による人件費で利益減といったコメントも目立った。



## 7. 在庫 D.I.

### (1) 在庫 D.I.の推移

